



山梨の地から世界に飛躍する医師の第一歩を踏み出そう

患者に信頼され安心を与え、自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

充実した研修教育プログラム

毎週木曜日の早朝から、研修医勉強会が開かれます。若手医師による実践的レクチャーや救急症例検討会が行われています。また、年に4回、研修医を演者として、臨床研究発表会が行われます。聴衆は理事長、院長はじめ全職種の職員です。年度当初には、ICLS、JPTECなどの講習会を受講しますが、年間を通じてAHA公認のBLS、ACLSなどが院内で開催されており優先的に受講できます。



恵まれた研修環境

研修医1人に1台ずつPCが与えられ、24時間インターネット接続可能です。医学情報を欲しい時にすぐ入手できます。仮眠室や図書室も整備されています。また、医師宿舎が2011年3月新築されました。研修医は優先して入居できます。宿舎は病院に隣接しており、間取りは1K、システムキッチン、エアコン、TV、ベッド、駐車場が完備、家賃（共益費・駐車場込）17,840円/月です



病院に隣接する医師宿舎

後期 臨床研修 プログラムの 特徴

中央病院

平成30年度から開始となった新専門医制度において、内科、救急科、総合診療科、整形外科、外科（予定）の専門研修プログラムを作成し、専攻医として迎え入れています。また、各診療科ごとに、後期臨床研修プログラムを作成し、後期臨床研修医を専修医としても迎え入れています。専門医を習得する3年間の目安ですが、各専修医の希望に応じたプログラムが可能です。将来、当院のスタッフとして勤務し、山梨県の医療を支えていただく人材の育成を念頭に置いています。

- ① 多くの臨床経験を積み重ねます
- ② 専門医資格取得を指導します
- ③ 研修中の臨床研究を英文誌に投稿することを目標とします
- ④ 海外留学の物心両面の援助を検討しています



北病院

山梨県立北病院は県内の精神科基幹病院としての役割を担っており、全国でもトップクラスの精神科治療、リハビリテーションを行っています。

2つの救急病棟、急性期治療病棟、児童思春期病棟、アルコール依存病棟、多飲水治療ユニット、医療観察法ユニットを有し、認知症疾患医療センターとしての機能も果たしており、幅広い精神疾患への対応が可能です。更に、デイケアや訪問医療チームが活発に動いており、外来機能も充実しています。このように、入院治療、地域生活の支援、そして社会復帰まで包括的な精神科医療を展開しています。

また、当院では学術的な活動も積極的に行っており、常に臨床研究がおこなわれています。その成果は、毎年、精神神経学会、臨床精神神経薬理学会などの各種学会や専門誌へ発表されています。そして、このような取り組みをこれまでに書籍として何冊も出版しており、日本の精神科医療をリードしています。

当院は日本精神神経学会精神科専門医研修施設、臨床精神神経薬理学研修施設として認定されており、臨床的、学術的に充実した研修体制を整えています。

